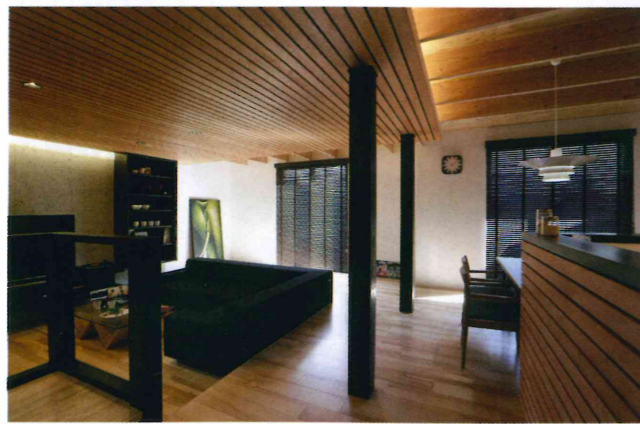


50代アクティブシニアに提案する 8つのデザインテイスト



別荘のようなリゾート感のある「ピラ・リゾート」タイプ（ラグジュアリーであり装飾的）



落ち着きと風格ある「モダンクラシック」（ラグジュアリーであり装飾的）



和の伝統を洗練させた「ジャパニーズモダン」（ラグジュアリーでありシンプル）



都会的でコントラストがはっきりした「スタイリッシュモダン」（ラグジュアリーでありシンプル）



フランス風の古くて味のある「フレンチ・シック」（カジュアルで装飾的）



レトロな雰囲気と居心地の良い「ヴィンテージ」（カジュアルで装飾的）



ぬくもりのある明るい「ナチュラル」（カジュアルでシンプル）



カラフルで軽快でシンプルな「カジュアル」（カジュアルでシンプル）



【写真左上】 休日には広い大理石の天板でパンをこねて、その焼き立ての香りに胸を躍らせる自分だけのこだわり空間を演出する「365モデルルーム」
 【写真中央上】 平均27歳の社員のやる気を引き出すしくみ
 【写真右上】 今までの生活にひとつ足す、インテリアライフスタイルショップ MONO+（モノプラス）
 【写真中央下】 インテリア雑貨店「MONO+ya」



「建て替え」から「再築」へ ライフスタイル提案会社へ転換
 「好み診断書」でインテリアチェック

2012年には「ハグハウス仙台台泉」をオープンし、新築までこなせるプロを社内内で育成した。狙いは既存住宅のフルリノベーション。5月に開始した「再築の家」事業への布石だった。

同事業では、既存住宅の建て替えではなく、躯体を残したフルリノベーションを提案。築30年以上の住宅を想定しているため、耐震診断士が建物調査をし、耐震性能基準の上部構造評点1以上になるよう補修する。吹付断熱アクアフォームで施工し、窓は全て断熱Low-Eペアガラスの樹脂サッシを設置。断熱性能を2倍以上に上げる。再築の家の工事価格は1600万円程度を想定する。

「再築の家」のモデルハウスはリゾート空間を思わせるピラリゾートタイプのデザイン。別荘のようなリゾート感のある室内は、当初、50～60代のアクティブシニア層を対象にしてリノベーションされたものだが、オープン以来、30代にも人気

が高いという。

大きなウッドデッキと、高級感あふれる内装タイル、ウォールナットの床材とレッドシダーの天井、アクティブシニア層向けにモダンな縁なし畳の和室も提案している。トータルコーディネートされた内装は特に多くの女性が一目ぼれするという。

オノヤは「再築の家」において、50代のアクティブシニアを対象に8つのデザインテイストを提案。それぞれ内装の提案で、施主の求めるインテリアは何かを知る指標として活用している。施主自身、自分が住みたい住まいのイメージがわからない場合も多いためだ。そのほか同社では、施主に自分の好みを確認してもらうため、「好み診断書」を3択で答えてもらうことにしている。施主の好きなコップや時計、ベッドカバーを選んでもらいながら、好みを確認。そこで相談しながら自分の好きなタイプに近いインテリアを決めてもらう。

今年、中古マンションをリノベーションする「365リノベ」もスタート。物件探し、リノベーション、インテリアコーディネートのをワンストップで提供する。対象とするのは20～30代の独身者、夫婦、ペットを飼いたい施主、子供のいる夫婦、両親と暮らす家族など。それぞれのライフスタイルに合わせた5つのスタイルを提案している。

①オークの床材にアイアン・タイルの素材を加えた「スローカフェ」②日常を忘れさせてくれるようなエッセンスを住まいにたっぷり取り入れたラグジュアリー感あふれる「ピラタイプ」③ホワイトオークの床材、建具、モールなど伝統のフランスの住居を彷彿とさせる「フレンチ」④濃いウォールナットの床材に、古材やアイアンなどを組み合せ、どこか海外の工場のような、メカニカルな雰囲気を感じさせる「インダストリアル」⑤



小野浩善社長

オノヤ

創業80年の歴史を持ち、平成10年に「オノヤリフォーム倶楽部」を立ち上げて以来、成長を続け、インテリアショップ「MONO+ya」、アクタスとの提携インテリアショップ「MONO+」、中古住宅を仲介する「オノヤ不動産」を新たに展開し、売上は33億円を超える。東京にリフォーム&リノベーションのショールームをオープン予定。

ローリングに白い建具、白い壁、白い天井を合わせた「シンプル」一と、おしゃれでこだわりのインテリアや家具を求める層に訴求できるタイプを取りそろえる。同社は今後、東京へのショールームの展開も計画している。